明科いいまち通信

明科いいまちつくろうかい!!
回覧
編集・発行

No. 59

安曇野市明科中川手６８２４番地１
明科支所：☎62-3001（代表）　／　明科公民館：☎62-4605

令和２年５月２１日 発行

新企画!!

明科うまいもん巡り

第01回　西村菓子舗 本店

西村菓子舗社長
西村　浩光

明科駅前のすぐそば、国道19号線沿いにある西村菓子舗本店は祖父の代、昭和8年(1933年)10月10日に開業し、今年で87周年を迎えます。以前は、あやめシティーの1階にも店舗を構え、パンの製造・販売なども行っていましたが、あやめシティーの閉店に伴い、現在は本店にて菓子類の製造・販売を続けています。

商品は和菓子から洋菓子、伝統的に受け継がれてきたものから現代風にアレンジしたものまで、様々な工夫をして作っており、ファーマーズガーデンあかしななどにも卸しています。

先代からずっと守り続けている大事な言葉があります。それは「日々勉強して自己満足せず、常に向上心を持ってやっていく」という事です。

お菓子作りは人に夢を与える商売です。お客さんに喜んでもらえるものを作り続ける事を、いつも心がけて商品開発をしています。そのひとつが「あまびえ」を題材にした商品です。「あまびえ」は、外見は人魚のようでくちばしがある姿の妖怪で、江戸時代後期に現在の熊本県の海に現れたといいます。これを絵に描いて広めると疫病がやむとの言い伝えから、新型コロナウイルスの拡大とともに全国的に知られる存在となりました。そんな人気者でお客さんに、ほっとしたひと時を与えられたらとの思いから、ケーキと和菓子を作ってみました。妖怪のイメージと裏腹の可愛らしい姿の菓子を召し上がられた方もおられるのではないでしょうか。

さて現在、明科駅前整備計画が進められており、国道の拡張などでまちの姿は大きく変わる事でしょう。祖父の代から続いてきた本店ですが、ありがたい事に4代目が店を継いでくれるとの事なので、場所を移して営業を続けていくつもりです。

新型コロナウイルスの流行も明るい兆しが見えてきましたが、まだまだ厳しい状況は続きそうです。元柔道家でタレントの三四六の「自粛しても委縮しない」と言う言葉を大切に、チャンスは必ずあると信じて、地域の人のためにも頑張って店を続けていきたいと思っています。

休憩スペースもある明るい店内

あまびえケーキ(¥324)と和菓子(¥250)

西村菓子舗

安曇野市明科中川手 3728
TEL: 0263-62-2115
OPEN: 08:30～19:30

明科コラム

三巨匠の安曇野来訪から50年（その② 二つの文学碑）

三巨匠のうち、明科といちばん関わりを持ったのは東山魁夷である。

昭和45年から20年経過した平成3年、明科高校1年の国語の教科書が交流の始まりだった。明治書院発行の「精選国語Ⅰ」は魁夷の作品の「若葉の季節」が表紙を飾り、中には魁夷の随想「心の鏡」が掲載されていた。「心の鏡」は青少年期の体験をとおして魁夷の人と自然に対する思いを綴った随想である。この随想の要旨は、自然を愛し、慈しむ人間がいる場所に美しい自然は存在する、自然を破壊し、汚染を繰り返す人間がいる場所には美しい自然は存在しないというものだ。魁夷の画にはこの精神が息づき、生活の中にもこのスタンスが根付いている。

精選国語Ⅰ
表紙を魁夷の「若葉の季節」が飾る

当時の国語科の教諭内川幸雄氏（明科出身・故人）はこの随想を読んだ生徒たちの感動を伝えたいと、躊躇はあったものの生徒の感想文を魁夷の元へ送った。数日して思いがけなく魁夷から丁寧な返事と書籍が届いた。内川教諭はその後魁夷の随想のいくつかを国語の授業で取り上げ、魁夷と手紙のやり取りをするようになった。

おりしも、明科高校では長野県高等学校PTA連合会の事務局となった記念に学校敷地内に多くの樹木を植栽して”平成の森“を造園する計画があった。その中心に魁夷の文学碑を建立する話が持ち上がり、当時の校長細川修氏は魁夷の手紙の一文を抽出して魁夷に揮毫してもらうことを思いつく。魁夷の快諾により、平成4年文学碑は完成する。

明科高校敷地内の文学碑

碑文はこのように書かれている。「次代を荷うみなさんは　あの安曇野の美しさを長く伝えてくださるよう　お願いいたします」・・・文中の「あの安曇野」とは50年前魁夷らが長峰山から眺めた安曇野である。

それから3年後の平成7年明科町では町制施行40周年記念事業として「天平の森」建設に着手していた。それに伴い今度は長峰山山頂に魁夷の文学碑を建立する計画が浮上する。当時の明科町総務課長の熊井秀夫氏は、魁夷が書いた「安曇野への旅」の一節を碑文にしようと魁夷の自筆のコピーを持って魁夷のもとを訪れ、このコピーを拡大して碑文に使わせてもらいたいと依頼する。魁夷は「コピーではだめでしょう。私が台紙に書きますよ。」と高齢（当時87歳）にもかかわらず快く揮毫してくれたのである。

「安曇野を想う」と名づけられた碑文は次のように書かれている。

「五月の若緑に蔽われた安曇野はなんと美しかったことか　上高地から流れ出る梓川が高瀬川と合流し犀川となって北へ流れる平野の上に高く連なる北アルプスの山々常念、東天井、燕と長峰山の上で案内人の指し示す残雪の峰々を仰ぎながら飽かず眺めたひとときが忘れられない」

原文では「長峰山」は「小高い丘の上」となっていた。熊井さんはこの語句を長峰山に替えてくださいと、お願いしたとのことだ。

長峰山山頂の文学碑

かくして明科には魁夷の文学碑が二つある。同一人物の碑が二つもあるところは全国で明科だけだろう。

二つの碑とも50年前の思いを現代に伝えるものである。長峰山頂から見る眺望は今でも美しい。しかし、地域は少子高齢化、過疎化、文化・産業の継承者の不足、松枯れの山など負の変化が出始めてきている。私たちは今後これらの課題に取り組みながら地域づくりを進めて行かなくてはならない。

［その③へ続く］

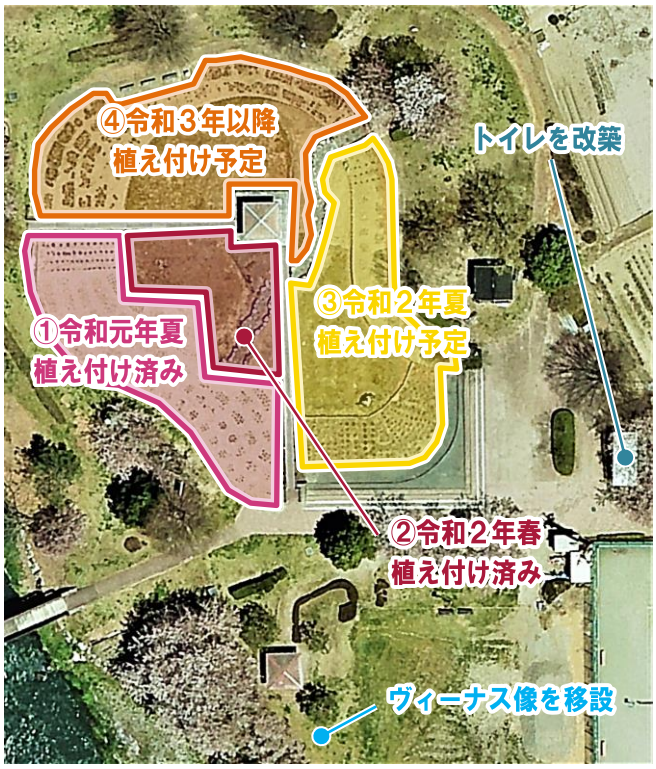
明科公民館長　安井邦夫

第36回安曇野明科あやめまつりの開催を中止します

6月20日(土)～21日(日)にかけて、第36回安曇野明科あやめまつりの開催を予定しておりましたが、お祭りの特性上、密集・密接を回避することは困難であり、新型コロナウイルス感染拡大のおそれがあることから、本年のあやめまつりは**開催を中止させていただくこととなりました。**

来年は安全安心で皆さまに楽しんでいただけるお祭りとなるよう準備してまいりますので、何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。[あやめまつり実行委員会事務局]

あやめ公園の改良につきまして



あやめまつりの会場としても使われているあやめ公園。以前はハナショウブが咲き誇っていましたが、植栽から約40年が経過した現在、株の衰えなどで花が咲かなくなってきています。

そこで、あやめ保存会を中心に、令和元年から本格的に改良作業が開始されました。まず既存のハナショウブを抜き取り、土壌を生育に適した土へと入替えました。その後、中央のあずまやの周囲にハナショウブの苗を段階的に植え付けています。

右図①の区域へは新潟県新発田市の五十野公園・池田町の相道寺より、**右図②**へは明科本町より株分け苗を持ってきて植え付けを行いました。**右図③・④**へは、今後苗を植える予定です。

その他、トイレの改築なども行われ、快適な公園づくりに向けて様々な計画が動き出しています。

ハナショウブの苗が定着し、株が大きくなるには数年かかるため、今年はまだ最盛期のような開花状況とはなりませんが、多くの方々の尽力により、年々状況は良くなってきています。

どうか今後ともあやめ公園の再生をあたたかく見守って頂ければ幸いです。よろしくお願いいたします。

☝ヴィーナス像は広場に移設されました。

☜今年5月に完成したばかりのトイレです。

☜**右上図①**の区域の去年植え付けた苗です。定着してすくすくと育っています。

それでも花は咲く

今年は新型コロナウイルスの影響により全国的に花見の人出は少なかったようです。明科の桜の名所をめぐりましたが、どこも閑散としていました。

世間の喧騒とは関係なく桜は毎年見事に花を咲かせます。桜は「もののあわれ」を感じさせる花ですが、今年はこのような状況で一段と感傷的になってしまいます。

来年は桜の木の下でにぎやかに花見を楽しみたいものです。

明科龍門渕公園の桜☞

職員の異動のご報告

4月1日付で、明科支所職員5名の異動がありました。新任職員5名より着任のあいさつを頂戴しましたので、下記に掲載をいたします。

明科地域課総括　小林　敬治　課長/支所長

この度、明科地域課長に着任しました小林敬治と申します。明科出身で、生まれは潮沢ですが、現在は上押野に住居を構えています。合併して間もなく明科を離れ、13 年振りに地元に帰ってまいりました。久し振りにお会いする方が多く、昔を懐かしみながら日々の業務にあたっています。来年３月末には定年退職となりますので、１年間の短いお付き合いとなりますが、可能な限り地元に貢献できたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

明科公民館担当　堀内　雅文　係長

４月の人事異動により明科公民館にお世話になっております。公民館業務の経験はなく、不慣れな部分も多々ありますが、地元明科出身という強みを生かして公民館事業に邁進してまいります。勤務地が明科支所となり、地元のことを改めて見つめ直すいい機会をいただきましたので、「いいまち明科」をあらゆる方面に発信できるよう努めたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

市民福祉･国保年金税務会計担当　望月　亜也子　係長

この度、明科地域課に異動し、市民福祉業務を担当させていただくことになりました。よろしくお願いいたします。明科は以前の勤務地であり、懐かしい思いでいっぱいです。初めて明科に来た時は、明科のことは何も知らずに働き始めましたが、豊かな自然、文化、人柄、魅力的なことがたくさんあり、すっかり明科が大好きになりました。再びここで仕事が出来ることをうれしく思います。まだ知らない明科の素敵な所を発見したいです。

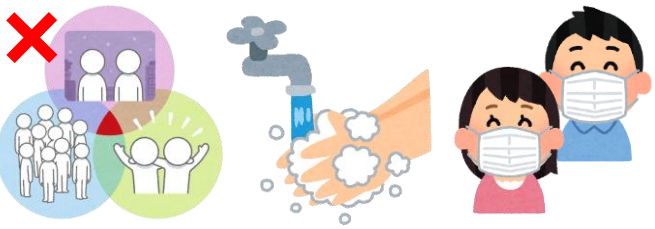
市民福祉･国保年金税務会計担当　高原　圭子　副主幹

この４月より、明科地域課に異動して参りました。お世話になります。毎朝通勤時に東山の桜が目に映りましたが、これからは新緑の季節が楽しみです。帰りには、夕日の沈みかけた、時には雲のかかった有明山の雄姿に癒されます。新しく携わる仕事が多く、戸惑ってばかりの毎日ですが、帰りに有明山を見ながら、「今日も頑張ったな。」と思えるような仕事ができるようにと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

生涯学習課 社会教育担当　三澤　正彦　社会教育指導員

この度、明科公民館に社会教育担当として異動となりました。地域の皆さんには、人権教育や放課後子ども教室、子ども会育成会等でお世話になります。今まで経験したことのない状況下で新年度が始まり、計画の延期や中止が相次いでいますが、そんな中で人とのつながりの大切さを感じています。特に、古里での勤務のおかげで、声をかけていただくことも多く、地元の温かさに励まされています。よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止に努めましょう！



- ３つの密（密閉・密集・密接）を避けましょう
- 手洗いを徹底しましょう
- マスクや咳エチケットで飛沫飛散防止に努めましょう

編集後記

・アルベール・カミュの「ペスト」がベストセラーになっているようです。伝染病に対し、立ち向かうさまざまな人々のありさまを描いたものです。ペストとコロナ。病名は異なっても現在の状況にもぴったり当てはまる小説です。この小説には人間を襲う不条理に人は何もすることができないという思想が根底にありますが、現代では人間の力で何とかなるはずです。収束の日まで皆さんで頑張りましょう。（や）

・前号編集時は新型コロナがこれほど猛威を振るうとは想像できませんでした。感染防止のため出歩かず、各通販サイトを活用していますが、この状況下でも業務を続けている郵便局や運送業者の方々には頭が上がりません。本当にありがとうございます。（ふ）

毎月第３日曜日は

家庭の日　～家族で一緒に過ごしましょう～

家庭の日には、優待制度が利用できる店舗･施設等があります。詳しくは「長野県青少年育成県民会議」ホームページまで。

http://himawari-nagano.jp/